

内装仕上げ施工技能検定試験の
試験科目及びその範囲並びにその細目

平成21年3月

厚生労働省職業能力開発局

1 1級内装仕上げ施工技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

内装仕上げ施工の職種における上級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表1の左欄のとおりとする。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表1の右欄のとおりとする。

表1

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 内装仕上げ一般 内装仕上げの種類</p> <p>2 建築構造 建築構造の種類及び特徴</p> <p>建築物の主要部分の種類及び構造</p> <p>3 建築製図 建築設計図書及び日本工業規格に定める建築製図通則</p> <p>4 関係法規 建築基準法（昭和25年法律第201号）関係法令及び消防法（昭和23年法律第186号）関係法令のうち</p>	<p>次に掲げる内装仕上げの種類について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 床仕上げ (2) 壁仕上げ (3) 天井仕上げ (4) カーテン及びブラインド</p> <p>次に掲げる建築構造の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 木造 (2) 鉄骨造 (3) 鉄筋コンクリート造 (4) 鉄骨鉄筋コンクリート造 (5) 補強コンクリートブロック造</p> <p>次に掲げる建築物の主要部分の種類及び構造について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 基礎 (2) 柱 (3) はり (4) 床 (5) 壁 (6) 天井 (7) 屋根 (8) 階段 (9) 開口部</p> <p>1 内装仕上げ工事に関連する建築設計図書について概略の知識を有すること。</p> <p>2 日本工業規格に定める建築製図通則のうち、建築設計図の内装仕上げ工事に関連する部分の読図に必要な事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 建築基準法関係法令に関し、内装仕上げ工事に関する規定について一般的な知識を有すること。</p> <p>2 消防法関係法令に関し、内装仕上げ工事に関する規定について一般的な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>ち、内装仕上げ工事に関する部分</p> <p>5 安全衛生</p> <p>安全衛生に関する詳細な知識</p> <p>6 前各号に掲げる科目のほか、次に掲げる科目のうち、受検者が選択するいずれか一の科目</p> <p>イ プラスチック系床仕上げ施工法</p> <p>床仕上げの種類及び特徴</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p>	<p>1 内装仕上げ工事に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 機械、器工具、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱方法</p> <p>(2) 安全装置、有害物抑制装置及び保護具の性能及び取扱方法</p> <p>(3) 作業手順</p> <p>(4) 作業開始時の点検</p> <p>(5) 内装仕上げ工事に関して、発生するおそれのある疾病の原因及び予防</p> <p>(6) 整理、整頓^{とん}及び清潔の保持</p> <p>(7) 事故時等における応急措置及び退避</p> <p>(8) その他内装仕上げ工事に関する安全又は衛生のために必要な事項</p> <p>2 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）関係法令（内装仕上げ工事に関する部分に限る。）について詳細な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) プラスチック系床仕上げ (2) カーペット系床仕上げ</p> <p>(3) 木質系床仕上げ</p> <p>2 次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル床仕上げ (2) 陶磁器質タイル床仕上げ</p> <p>(3) 石材床仕上げ (4) 畳敷き</p> <p>(5) 合成樹脂塗り床仕上げ (6) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p>

試験科目及びその範囲	技能検定試験の基準の細目
<p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p> <p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p> <p>プラスチック系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法</p> <p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p> <p>プラスチック系床仕上げ工事の施工計画、段取り及び工法</p>	<p>1 プラスチック系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 次のプラスチック系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途 イ ビニル床シート ロ ビニル床タイル</p> <p>(2) 次のプラスチック系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、規格、性質及び用途 イ プラスチック系床材用接着剤 ロ 下地補修材 ハ 下地補強材 ニ プライマー ホ ワックス ヘ 目地処理材 ト ノンスリップ、押え金具等の附属材 チ 型紙</p> <p>2 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) カーペット (2) タイルカーペット (3) カーペット用接着剤 (4) グリッパー (5) 下敷き材</p> <p>3 次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 単層フローリング（無垢材） (2) 複合フローリング (3) 木質系床材用接着剤 (4) 釘、ねじ</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板 (3) 鋼板 (4) 防湿材及び防水材</p> <p>次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地調整器工具 (2) 下地乾燥度測定器 (3) 割り付け工具 (4) 裁断工具 (5) 採寸工具 (6) 接着剤塗布器工具 (7) 圧着工具 (8) 溶接器工具 (9) 加熱器具 (10) 補修工具</p> <p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事 (5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事 (9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11) 断熱及び防露工事 (12) P Cパネル工事及びA L Cパネル工事</p> <p>1 プラスチック系床仕上げ工事の施工計画に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 施工順序 (2) 材料の手配、運搬及び保管<small>ぼん</small></p>

試験科目及びその範囲	技能検定試験の基準の細目
<p>プラスチック系床の維持及び管理</p> <p>色彩の用語及び図柄の種類</p> <p>ロ カーペット系床仕上げ施工法</p> <p>床仕上げの種類及び特徴</p>	<p>(3) 作業員の配置 (4) 関連他工事との連けい</p> <p>(5) 工程表の作成</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事の段取りについて詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地の点検及び調整 (2) 材料選定</p> <p>(3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>3 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 次のビニル床タイルの壁面部及び役物部の寸法取りの方法 イ フリーカット工法 ロ けがき工法 ハ 型紙工法</p> <p>(2) 次のビニル床タイルの接着工法 イ 片面接着工法 ロ 両面接着工法 ハ ピールアップ工法</p> <p>(3) 次のビニル床シートの壁面部及び役物部の寸法取りの方法 イ フリーカット工法 ロ けがき工法 ハ 型紙工法</p> <p>(4) 次のビニル床シートの接着工法 イ 片面接着工法 ロ 両面接着工法 ハ 袋張り工法 ニ テープ張り工法 ホ ピールアップ工法</p> <p>(5) 次のビニル床シートの継ぎ目部のカットの仕方 イ 重ね切り工法 ロ 落とし込み工法 ハ 目すかし張り工法</p> <p>(6) 次のビニル床シートの接合工法 イ 突きつけ工法 ロ 溶接棒による接合 ハ 溶接液による接合</p> <p>(7) ビニル床シートの柄合わせ</p> <p>(8) 立上り部分及び階段の仕上げ工法</p> <p>(9) 幅木仕上げ工法 (10) 張り替え工法</p> <p>プラスチック系床の維持及び管理について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる色彩の用語について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 色相 (2) 明度 (3) 彩度 (4) 寒色及び暖色</p> <p>(5) 色相対比 (6) 面積効果 (7) 明度対比 (8) 色の軽重度</p> <p>2 次に掲げる図柄の種類について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 柄割 (2) 紋丈 (3) 紋クセ</p> <p>1 次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について詳細な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p> <p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p> <p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p> <p>カーペット系床仕上げ工</p>	<p>(1) カーペット系床仕上げ (2) プラスチック系床仕上げ (3) 木質系床仕上げ</p> <p>2 次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル床仕上げ (2) 陶磁器質タイル床仕上げ (3) 石材床仕上げ (4) 畳敷き (5) 合成樹脂塗り床仕上げ (6) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p> <p>1 カーペット系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 次のカーペット系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途 イ だんつう ロ パイルの機械織りカーペット ハ タフテットカーペット ニ タイルカーペット ホ ニードルパンチカーペット ヘ ボンデットカーペット ト クッションバックカーペット チ 人工芝生</p> <p>(2) 次のカーペット系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、規格、性質及び用途 イ カーペット系床用接着剤 ロ 下地補修材 ハ 下地補強材 ニ グリッパー ホ 下敷き材 ヘ ノンスリップ、押え金具等の附属材</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) ビニル床シート (2) ビニル床タイル (3) プラスチック系床用接着剤 (4) プライマー (5) 目地処理材 (6) ワックス</p> <p>3 次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 単層フローリング(無垢材) (2) 複合フローリング (3) 木質系床材用接着剤 (4) 釘、ねじ</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板 (3) 鋼板 (4) 防湿材及び防水材</p> <p>次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する器工具の種類、</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>事に使用する器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p> <p>カーペット系床仕上げ工事の施工計画、段取り及び工法</p> <p>カーペット系床の維持及び管理</p> <p>色彩の用語及び図柄の種類</p> <p>ハ 木質系床仕上げ施工法</p> <p>床仕上げの種類及び特徴</p>	<p>用途及び使用方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 割付け用器工具 (2) 接着用器工具 (3) 切断用器工具 (4) 敷込み用器工具 (5) 補助器工具</p> <p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事 (5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事 (9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11) 断熱及び防露工事 (12) PCパネル工事及びALCパネル工事</p> <p>1 カーペット系床仕上げ工事の施工計画に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 施工順序 (2) 材料の手配、運搬^{ばん}及び保管 (3) 作業員の配置 (4) 関連他工事との連けい (5) 工程表の作成</p> <p>2 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事の段取りに関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地の点検及び調整 (2) 材料選定 (3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>3 次に掲げるカーペット系床仕上げ工法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 次のカーペット系床仕上げ工法 イ グリッパー工法 ロ タイル張り工法 ハ 直張り工法 ニ くぎ打ち工法 ホ 置敷き工法 ヘ 両面接着テープ工法 (2) 階段の仕上げ工法 (3) 接合方法 (4) 張り替え工法</p> <p>カーペット系床の維持及び管理について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる色彩の用語について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 色相 (2) 明度 (3) 彩度 (4) 寒色及び暖色 (5) 色相対比 (6) 面積効果 (7) 明度対比 (8) 色の軽重度</p> <p>2 次に掲げる図柄の種類について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 柄割 (2) 紋丈 (3) 紋クセ</p> <p>1 次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 木質系床仕上げ (2) プラスチック系床仕上げ (3) カーペット系床仕上げ</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p> <p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p> <p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p> <p>木質系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法</p>	<p>2 次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル床仕上げ (2) 陶磁器質タイル床仕上げ (3) 石材床仕上げ (4) 畳敷き (5) 合成樹脂塗り床仕上げ (6) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p> <p>1 木質系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の木質系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途 イ 単層フローリング（無垢材） ロ 複合フローリング</p> <p>(2) 次の木質系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、規格、性質及び用途 イ 木質系床材用接着剤 ロ 釘、ねじ ハ 塗料（コーティング用、ライン引き用） ニ ワックス ホ エキスパンジョン ヘ ダボ ト 養生テープ（養生用、ライン引き用）</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) ビニル床シート (2) ビニル床タイル (3) プラスチック系床用接着剤 (4) プライマー (5) 目地処理材 (6) ワックス</p> <p>3 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) カーペット (2) タイルカーペット (3) カーペット用接着剤 (4) グリッパー (5) 下敷き材</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板 (3) 鋼板</p> <p>次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地調整器工具 (2) 下地乾燥度測定器 (3) 割り付け工具 (4) 裁断工具 (5) 採寸工具 (6) 接着剤塗布器工具 (7) 圧着工具 (8) 釘留め・ねじ留め用工具</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p> <p>木質系床仕上げ工事の施工計画、段取り及び工法</p> <p>木質系床の維持及び管理 図柄の種類</p> <p>ニ 鋼製下地施工法 吸音及び遮音、断熱及び防露並びに防火及び耐火</p>	<p>(9) 研磨工具（研磨材を含む。） (10) 清掃工具 (11) 塗装工具 (12) 補修工具</p> <p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事 (5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事 (9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11)断熱及び防露工事 (12) P C パネル工事及び A L C パネル工事</p> <p>1 木質系床仕上げ工事の施工計画に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 施工順序 (2) 材料の手配、運搬^{ぼん}及び保管 (3) 作業員の配置 (4) 関連他工事との連けい (5) 工程表の作成</p> <p>2 次に掲げる木質系床仕上げ工事の段取りについて詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地の点検及び処理 (2) 材料選定 (3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>3 次に掲げる木質系床仕上げ工法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の木質系床張り工法 イ 釘留め工法 ロ 直張り工法・圧着工法（接着工法） ハ 普通張り工法（釘・接着剤併用工法） ニ 特殊張り工法（釘・接着剤・ねじ併用工法）</p> <p>(2) 次の木質系床表面仕上げ工法 イ 研磨・コーティング工法 ロ ライン引き工法</p> <p>(3) 立上り部分及び階段の仕上げ工法 (4) 幅木仕上げ工法 (5) 張り替え工法</p> <p>木質系床の維持及び管理について一般的な知識を有すること。 次に掲げる木質系床仕上げの図柄について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) レンガ張り (2) ヘリンボーン張り（網代張り） (3) 矢羽根張り（留め網代張り） (4) 市松張り (5) 乱尺張り (6) デザイン張り</p> <p>1 次に掲げる吸音及び遮音並びに断熱及び防露の性質について詳細な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
天井及び壁の種類及び特徴	<p>(1) 吸音及び遮音 イ 吸音性 ロ 遮音性</p> <p>(2) 断熱及び防露 イ 熱伝導性 ロ 吸湿性 ハ 透湿性 ニ 伸縮性</p> <p>2 内装仕上げ工事に伴う吸音及び遮音、断熱及び防露並びに防火及び耐火の方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 吸音及び遮音 イ 効果 ロ 工法</p> <p>(2) 断熱及び防露 イ 効果 ロ 工法</p> <p>(3) 防火及び耐火 イ 防火材料 ロ 内装制限 ハ 防火構造 ニ 耐火構造 ホ 防煙区画</p> <p>1 天井の構法、形状及び納まりについて詳細な知識を有すること。</p> <p>2 壁の構法、種類及び納まりについて詳細な知識を有すること。</p> <p>3 次に掲げる天井仕上げ及び壁仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井仕上げ イ 板張り仕上げ ロ 金属成形板仕上げ ハ 壁紙仕上げ ニ 塗装仕上げ ホ その他の仕上げ</p> <p>(2) 壁仕上げ イ 構造化粧仕上げ ロ 板張り仕上げ ハ 金属成形板仕上げ ニ 塗り壁仕上げ ホ タイル・石張り仕上げ ヘ 壁紙仕上げ ト 塗装仕上げ チ パーティション リ カーテンウォール ヌ その他の仕上げ</p> <p>4 次に掲げる天井下地及び壁下地の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>(2) 壁下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>鋼製下地工事に使用する材料の種類、規格、性質</p> <p>次に掲げる鋼製下地工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について詳細な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>及び用途</p> <p>鋼製下地工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>ボード仕上げ工事に使用する材料の種類及び規格</p> <p>鋼製下地工事及びボード仕上げ工事の関連工事の種類及び施工法</p> <p>鋼製下地工事の施工計画、段取り及び工法</p>	<p>(1) つりボルト及びハンガ (2) 野縁受け及び野縁</p> <p>(3) 天井補強材 (4) スタッド及びランナ</p> <p>(5) スペーサ及び振れ止め (6) 壁補強材</p> <p>(7) 点検口 (8) その他工事に使用する材料</p> <p>1 次に掲げる鋼製下地工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 高速切断機及び切断用器工具 (2) アーク溶接機</p> <p>(3) その他の器工具</p> <p>2 電動機器の取扱い及び配線に必要な電気知識について詳細な知識を有すること。</p> <p>次に掲げるボード仕上げ工事に使用する材料の種類及び規格について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) せっこうボード (2) その他のボード類</p> <p>次に掲げる関連工事の種類及び施工法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 木工事 (3) 左官工事 (4) 建具工事</p> <p>(5) 壁装工事 (6) 床工事 (7) 塗装工事 (8) 設備工事</p> <p>1 鋼製下地工事の施工計画に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 施工順序 (2) 材料の手配、搬入及び保管</p> <p>(3) 作業員の配置 (4) 関連他工事との連けい</p> <p>(5) 工程表の作成</p> <p>2 鋼製下地工事の段取りに関し、次に掲げる作業の方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 前工程の確認 (2) 割付け (3) 墨出し (4) 使用材料の確認</p> <p>(5) 施工用器工具及び機械の準備及び点検 (6) 足場材の確認</p> <p>3 鋼製天井下地工法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) つりボルト及びハンガの加工及び取付け</p> <p>(2) 野縁受けの加工及び取付け (3) 野縁の加工及び取付け</p> <p>(4) 下り壁及び^{こう}配天井 (5) 点検口取付け</p> <p>(6) 開口部補強、つり元補強、天井補強その他補強材料の加工及び取付け</p> <p>4 鋼製壁下地工法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) スタッド及びランナの加工及び取付け</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>鋼製下地工事における欠陥の種類、原因及び補修方法</p> <p>鋼製下地工事における養生</p> <p>ホ ボード仕上げ施工法</p> <p>吸音及び遮音、断熱及び防露並びに防火及び耐火</p> <p>天井及び壁の種類及び特徴</p>	<p>(2) スペーサ及び振れ止めの加工及び取付け</p> <p>(3) L形及びT形取合い</p> <p>(4) 建具及びダクト類の開口補強、そで壁その他補強材料の加工及び取付け</p> <p>5 システム天井工事の材料及び工法に関し一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる鋼製下地工事における欠陥の種類及び原因について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 材質面での欠陥 (2) 施工面での欠陥</p> <p>(3) 外部要因による欠陥</p> <p>2 鋼製下地工事における補修の方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>鋼製下地工事の養生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 鋼製下地工事の作業中及び作業後の養生の方法</p> <p>(2) 鋼製下地用材料の運搬^{ばん}及び保管における養生の方法</p> <p>1 次に掲げる吸音及び遮音並びに断熱及び防露の性質について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 吸音及び遮音</p> <p>イ 吸音性 ロ 遮音性</p> <p>(2) 断熱及び防露</p> <p>イ 熱伝導性 ロ 吸湿性 ハ 透湿性 ニ 伸縮性</p> <p>2 内装仕上げ工事に伴う吸音及び遮音、断熱及び防露並びに防火及び耐火の方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 吸音及び遮音</p> <p>イ 効果 ロ 工法</p> <p>(2) 断熱及び防露</p> <p>イ 効果 ロ 工法</p> <p>(3) 防火及び耐火</p> <p>イ 防火材料 ロ 内装制限 ハ 防火構造</p> <p>ニ 耐火構造 ホ 防煙区画</p> <p>1 天井及び壁の構法、形状、種類及び納まりについて詳細な知識を有すること。</p> <p>2 次に掲げる天井仕上げ及び壁仕上げの種類及び特徴について一</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>ボード仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p> <p>ボード仕上げ工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>鋼製下地工事に使用する材料の種類及び規格</p> <p>鋼製下地工事及びボード</p>	<p>一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井仕上げ イ 板張り仕上げ ロ 金属成形板仕上げ ハ 壁紙仕上げ ニ 塗装仕上げ ホ その他の仕上げ</p> <p>(2) 壁仕上げ イ 構造化粧仕上げ ロ 板張り仕上げ ハ 金属成形板仕上げ ニ 塗り壁仕上げ ホ タイル・石張り仕上げ へ 壁紙仕上げ ト 塗装仕上げ チ パーティション リ カーテンウォール ヌ その他の仕上げ</p> <p>3 次に掲げる天井下地及び壁下地の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>(2) 壁下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>ボード仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>1 次のボード類の種類、規格、性質及び用途 (1) せっこうボード (2) ロックウール化粧吸音板 (3) グラスウール化粧吸音板 (4) けい酸カルシウム板 (5) スレート (6) 合板 (7) その他のボード類</p> <p>2 ボード類接着剤の種類、規格及び用途</p> <p>3 次の附属部材の種類、規格及び用途 (1) タッピンねじ (2) ステープル (3) ボードくぎ及び特殊くぎ (4) ジョイナー (5) 見切り縁</p> <p>1 次に掲げるボード仕上げ工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法について詳細な知識を有すること。 (1) エアコンプレッサー及びタッカ (2) 電動工具 (3) 切断用器工具 (4) その他の器工具</p> <p>2 電動機器の取扱い及び配線に必要な電気知識について詳細な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる鋼製下地工事に使用する材料の種類及び規格について一般的な知識を有すること。 (1) 野縁 (2) スタッド (3) その他工事に使用する材料</p> <p>次に掲げる関連工事の種類及び施工法について一般的な知識を有</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>仕上げ工事の関連工事の種類及び施工法</p> <p>ボード仕上げ工事の施工計画、段取り及び工法</p>	<p>すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 木工事 (3) 左官工事 (4) 建具工事 (5) 壁装工事 (6) 床工事 (7) 塗装工事 (8) 設備工事</p> <p>1 ボード仕上げ工事の施工計画に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 施工順序 (2) 材料の手配、搬入及び保管 (3) 作業員の配置 (4) 関連他工事との連携 (5) 工程表の作成</p> <p>2 ボード仕上げ工事の段取りに関し、次に掲げる作業の方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 前工程の確認 (2) 割付け (3) 墨出し (4) 使用材料の確認 (5) 施工用器工具及び機械の準備及び点検 (6) 足場材の確認</p> <p>3 ボード仕上げ工法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) ボード類及び附属部材の加工方法 イ 切断 ロ 穴あけ及び切込み ハ 面取り ニ やといざね加工 ホ 見切り縁留め加工</p> <p>(2) 仕上げ イ 目透し張り工法 ロ 突付け張り工法 ハ 捨張り工法 ニ 重ね張り工法 ホ 接着工法 ヘ 継目処理工法 ト 壁じか張り工法</p> <p>4 システム天井工事の材料及び工法に関し一般的な知識を有すること。</p>
<p>ボード仕上げ工事における欠陥の種類、原因及び補修方法</p>	<p>1 次に掲げるボード仕上げ工事における欠陥の種類及び原因について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 材質面での欠陥 (2) 施工面での欠陥 (3) 外部要因による欠陥</p> <p>2 ボード仕上げ工事における補修の方法について詳細な知識を有すること。</p>
<p>ボード仕上げ工事における養生</p>	<p>ボード仕上げ工事の養生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) ボード仕上げ工事の作業中及び作業後の養生の方法 (2) ボード類及び取付附属部材の運搬及び保管における養生の方法</p>
<p>ヘ カーテン施工法 カーテンの種類及び特徴</p>	<p>1 次に掲げるカーテンの種類について詳細な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>縫製に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>カーテンに使用する材料及び取付用材料の種類、特徴及び用途</p> <p>模様の種類、特徴及び効果</p> <p>色彩の用語</p> <p>スタイルの決定</p>	<p>(1) カーテン (2) どん帳及び舞台幕</p> <p>(3) ブラインド及びロールブラインド (4) アコーディオンドア</p> <p>(5) ロマンシェード</p> <p>2 次に掲げるカーテンの種類に関する事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 保温 (2) 遮光 (3) 吸音 (防音)</p> <p>縫製に使用するミシン及び附属品並びに器工具の種類、用途及び使用方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる繊維の種類、特徴及び用途について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 天然繊維 (2) 化学繊維</p> <p>2 次に掲げる織物及び生地の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 織物</p> <p>イ 平織物 ロ ^{あや}綾織物 ハ 朱子織物</p> <p>(2) 生地</p> <p>イ 厚手生地 ロ 薄手生地 ハ ケースメント ニ レース</p> <p>3 カーテン生地に関し、次に掲げる染色方法及び特殊加工について、概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 染色方法</p> <p>イ 先染 ロ 後染 ハ ^な捺染 ニ 染色^{ろう}堅牢度</p> <p>(2) 特殊加工</p> <p>イ 樹脂加工 ロ 防水加工 ハ 防縮加工</p> <p>ニ コーティング ホ 防炎加工</p> <p>4 次に掲げるカーテンの取付用材料の種類及び特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) カーテンレール (2) カーテンボックス</p> <p>(3) 開閉及び昇降用装置 (4) 附属品</p> <p>次に掲げる模様の特徴及び効果について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 具象模様 (2) 抽象模様 (3) 幾何学模様</p> <p>次に掲げる色彩の用語について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 色相 (2) 明度 (3) 彩度 (4) 寒色及び暖色</p> <p>(5) 色相对比 (6) 面積効果 (7) 明度対比 (8) 色の軽重度</p> <p>スタイルの決定に関し、次に掲げる要素に応じたスタイルの決定</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>採寸及び要尺並びに取付けの方法</p> <p>裁断及び縫製の種類及び方法</p> <p>室内装飾用カバーの種類及び特徴</p> <p>実 技 試 験 次の各号に掲げる科目のうち、 受検者が選択するいずれか一の 科目</p> <p>1 プラスチック系床仕上げ工事 作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び調整</p> <p>床仕上げ材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p>	<p>について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 使用目的 (2) 窓 (3) 天井 (4) 壁 (5) 床</p> <p>1 次に掲げる事項に応じた採寸及び要尺の方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 採寸</p> <p>イ 取付位置及び形状 ロ 金具</p> <p>ハ 上飾り、房等のアクセサリー</p> <p>(2) 要尺</p> <p>イ 各種繊維 ロ スタイル ハ アクセサリー</p> <p>2 カーテンの取付けの方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 取付場所の確認 (2) 金具等の組立て</p> <p>(3) 金具の取付け (4) カーテンの吊込み^{つり} (5) 仕上げ</p> <p>3 次に掲げる材質による壁及び天井のカーテンの取付けの方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) コンクリート (3) 金属</p> <p>(4) プラスターボード (5) スレート (6) その他の材質</p> <p>1 次に掲げる裁断の方法について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 柄裁ち (2) 目裁ち (3) けん尺裁ち</p> <p>(4) 柄合せ (5) 耳裁ち</p> <p>2 次に掲げる縫製の方法について、詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 幅はぎ (2) 耳縫い (3) 裾又は頭縫い^{すそ}</p> <p>次に掲げる室内装飾用カバーの種類及び特徴について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 椅子カバー^い (2) ベットカバー</p> <p>(3) テーブルクロス (4) クッションカバー</p> <p>床下地の点検及び調整ができること。</p> <p>床仕上げ材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>プラスチック系床仕上げ工事の施工</p> <p>積算</p>	<p>1 平場及び立上り部の施工ができること。 2 階段部の施工ができること。 3 幅木の施工ができること。 4 柄合わせができること。 5 接合ができること。 設計図、仕様書等により積算ができること。</p>
<p>2 カーペット系床仕上げ工事作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び調整 床仕上げ材の選定 割付け及び墨出し カーペット系床仕上げ工事の施工</p> <p>積算</p>	<p>床下地の点検及び調整ができること。 床仕上げ材の選定ができること。 割付け及び墨出しができること。 1 平場及び立上り部の施工ができること。 2 階段部の施工ができること。 3 柄合わせができること。 4 接合ができること。 5 縫製ができること。 設計図、仕様書等により積算ができること。</p>
<p>3 木質系床仕上げ工事作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び処理 床仕上げ材の選定 割付け及び墨出し 木質系床仕上げ工事の施工</p> <p>積算</p>	<p>床下地の点検及び処理ができること。 床仕上げ材の選定ができること。 割付け及び墨出しができること。 1 平場及び立上り部の施工ができること。 2 階段部の施工ができること。 3 幅木の施工ができること。 設計図、仕様書等により積算ができること。</p>
<p>4 鋼製下地工事作業</p> <p>取付下地の点検及び補修 鋼製下地材の選定 割付け及び墨出し 鋼製下地工事の施工</p>	<p>天井及び壁取付下地を図面に基づき点検及び補修処置ができること。 鋼製下地材の選定ができること。 割付け及び墨出しができること。 1 天井下地工事に関し、次に掲げる作業ができること。 (1) つり金具の加工及び取付け (2) 野縁受けの加工及び取付け (3) 野縁の加工及び取付け (4) 天井補強材の加工及び取付け (5) 開口部補強材の加工及び取付け (6) 鋼製下地の補修</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>積算</p> <p>5 ボード仕上げ工事作業</p> <p>取付下地の点検及び補修</p> <p>ボード類の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>ボード仕上げ工事の施工</p> <p>積算</p> <p>6 カーテン工事作業</p> <p>採寸及び要尺</p> <p>裁断</p> <p>縫製</p> <p>取付け</p> <p>積算</p>	<p>2 壁下地工事に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) スタッド及びランナの加工及び取付け</p> <p>(2) スペーサ及び振れ止めの取付け</p> <p>(3) 壁補強材の加工及び取付け (4) 振れ止めの加工及び取付け</p> <p>(5) 鋼製下地の補修</p> <p>設計図、仕様書等により積算ができること。</p> <p>天井及び壁下地を図面に基づき点検及び補修ができること。</p> <p>ボード類の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <p>1 天井ボード仕上げ工事に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) ボード類の加工 (2) 鋼製下地にボード類の捨張り</p> <p>(3) 鋼製下地にボード類の突付け張り</p> <p>(4) 鋼製下地にボード類の目透し張り (5) 捨張りへの化粧張り</p> <p>(6) 金属製及びプラスチック製見切り縁の取付け</p> <p>(7) 設備器具開口部の切込み (8) 改め口の切込み及び取付け</p> <p>(9) 柱及びパイプ回りの切欠き</p> <p>(10) ボード張り天井の養生及び補修</p> <p>2 壁ボード仕上げ工事に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) 鋼製下地にボード類突付け張り</p> <p>(2) 鋼製下地にボード類目透し張り</p> <p>(3) 鋼製下地にボード類重ね張り</p> <p>(4) せっこう系接着剤によるコンクリート面へのじか張り</p> <p>(5) ボード張り壁の養生及び補修</p> <p>設計図、仕様書等により積算ができること。</p> <p>次に掲げるカーテン類に応じた採寸及び要尺ができること。</p> <p>(1) カーテン (2) どん帳 (3) 舞台幕</p> <p>1 柄裁ち、目裁ち及びけん尺裁ち作業ができること。</p> <p>2 柄合せ及び耳裁ち作業ができること。</p> <p>縫製作業ができること。</p> <p>次に掲げるカーテンの施工場所に応じた取付作業ができること。</p> <p>(1) カーテン (2) どん帳 (3) 舞台幕</p> <p>(4) ブラインド及びロールブラインド (5) アコーディオンドア</p> <p>設計図、仕様書等により積算ができること。</p>

2 2級内装仕上げ施工技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

内装仕上げ施工の職種における中級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表2の左欄のとおりとする。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表2の右欄のとおりとする。

表2

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 内装仕上げ一般 内装仕上げの種類</p> <p>2 建築構造 建築構造の種類及び特徴</p> <p>建築物の主要部分の種類及び構造</p> <p>3 建築製図 建築設計図書及び日本工業規格に定める建築製図通則</p> <p>4 関係法規 建築基準法関係法令及び消防法関係法令のうち、内装仕上げ工事に関する部分</p>	<p>次に掲げる内装仕上げの種類について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 床仕上げ (2) 壁仕上げ (3) 天井仕上げ (4) カーテン及びブラインド</p> <p>次に掲げる建築構造の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 木造 (2) 鉄骨造 (3) 鉄筋コンクリート造 (4) 鉄骨鉄筋コンクリート造 (5) 補強コンクリートブロック造</p> <p>次に掲げる建築物の主要部分の種類及び構造について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 基礎 (2) 柱 (3) はり (4) 床 (5) 壁 (6) 天井 (7) 屋根 (8) 階段 (9) 開口部</p> <p>1 内装仕上げ工事に関連する建築設計図書について概略の知識を有すること。</p> <p>2 日本工業規格に定める建築製図通則のうち、建築設計図の内装仕上げ工事に関連する部分の読図に必要な事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 建築基準法関係法令に関し、内装仕上げ工事に関する規定について一般的な知識を有すること。</p> <p>2 消防法関係法令に関し、内装仕上げ工事に関する規定について一般的な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>5 安全衛生</p> <p>安全衛生に関する詳細な知識</p> <p>6 前各号に掲げる科目のほか、次に掲げる科目のうち、受検者が選択するいずれか一の科目</p> <p>イ プラスチック系床仕上げ施工法</p> <p>床仕上げの種類及び特徴</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p> <p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p>	<p>1 内装仕上げ工事に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 機械、器工具、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱方法</p> <p>(2) 安全装置、有害物抑制装置及び保護具の性能及び取扱方法</p> <p>(3) 作業手順</p> <p>(4) 作業開始時の点検</p> <p>(5) 内装仕上げ工事に関して、発生するおそれのある疾病の原因及び予防</p> <p>(6) 整理、整頓^{とん}及び清潔の保持</p> <p>(7) 事故時等における応急措置及び退避</p> <p>(8) その他内装仕上げ工事に関する安全又は衛生のために必要な事項</p> <p>2 労働安全衛生法関係法令（内装仕上げ工事に関する部分に限る。）について詳細な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) プラスチック系床仕上げ (2) カーペット系床仕上げ</p> <p>(3) 木質系床仕上げ (4) モルタル床仕上げ</p> <p>(5) 陶磁器質タイル床仕上げ (6) 石材床仕上げ</p> <p>(7) 畳敷き (8) 合成樹脂塗り床仕上げ</p> <p>(9) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p> <p>1 プラスチック系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次のプラスチック系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途</p> <p>イ ビニル床シート ロ ビニル床タイル</p> <p>(2) 次のプラスチック系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、</p>

試験科目及びその範囲	技能検定試験の基準の細目
<p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p> <p>プラスチック系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法</p> <p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p> <p>プラスチック系床仕上げ工事の段取り及び工法</p>	<p>規格、性質及び用途</p> <p>イ プラスチック系床材用接着剤 ロ 下地補修材 ハ 下地補強材 ニ プライマー ホ ワックス ヘ 目地処理材 ト ノンスリップ、押え金具等の附属材 チ 型紙</p> <p>2 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) カーペット (2) タイルカーペット (3) カーペット用接着剤 (4) グリッパー (5) 下敷き材</p> <p>3 次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 単層フローリング（無垢材） (2) 複合フローリング (3) 木質系床材用接着剤 (4) 釘、ねじ</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板 (3) 鋼板 (4) 防湿材及び防水材</p> <p>次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地調整器工具 (2) 下地乾燥度測定器 (3) 割り付け工具 (4) 裁断工具 (5) 採寸工具 (6) 接着剤塗布器工具 (7) 圧着工具 (8) 溶接器工具 (9) 加熱器具 (10) 補修工具</p> <p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事 (5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事 (9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11) 断熱及び防露工事 (12) P Cパネル工事及びA L Cパネル工事</p> <p>1 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事の段取りについて一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地の点検及び調整 (2) 材料選定 (3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次のビニル床タイルの壁面部及び役物部の寸法取りの方法 イ フリーカット工法 ロ けがき工法 ハ 型紙工法</p>

試験科目及びその範囲	技能検定試験の基準の細目
<p>プラスチック系床の維持及び管理</p> <p>色彩の用語及び図柄の種類</p> <p>ロ カーペット系床仕上げ施工法</p> <p>床仕上げの種類及び特徴</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p> <p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質</p>	<p>(2) 次のビニル床タイルの接着工法 イ 片面接着工法 ロ 両面接着工法 ハ ピールアップ工法</p> <p>(3) 次のビニル床シートの壁面部及び役物部の寸法取りの方法 イ フリーカット工法 ロ けがき工法 ハ 型紙工法</p> <p>(4) 次のビニル床シートの接着工法 イ 片面接着工法 ロ 両面接着工法 ハ 袋張り工法 ニ テープ張り工法 ホ ピールアップ工法</p> <p>(5) 次のビニル床シートの継ぎ目部のカットの仕方 イ 重ね切り工法 ロ 落とし込み工法 ハ 目すかし張り工法</p> <p>(6) 次のビニル床シートの接合工法 イ 突きつけ工法 ロ 溶接棒による接合 ハ 溶接液による接合</p> <p>(7) ビニル床シートの柄合わせ</p> <p>(8) 立上り部分及び階段の仕上げ工法</p> <p>(9) 幅木仕上げ工法 (10) 張り替え工法</p> <p>プラスチック系床の維持及び管理について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる色彩の用語について一般的な知識を有すること。 (1) 色相 (2) 明度 (3) 彩度 (4) 寒色及び暖色 (5) 色相對比 (6) 面積効果 (7) 明度對比 (8) 色の軽重度</p> <p>2 次に掲げる図柄の種類について一般的な知識を有すること。 (1) 柄割 (2) 紋丈 (3) 紋クセ</p> <p>次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。 (1) カーペット系床仕上げ (2) プラスチック系床仕上げ (3) 木質系床仕上げ (4) モルタル床仕上げ (5) 陶磁器質タイル床仕上げ (6) 石材床仕上げ (7) 畳敷き (8) 合成樹脂塗り床仕上げ (9) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について一般的な知識を有すること。 (1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p> <p>1 カーペット系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>及び用途</p> <p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p> <p>カーペット系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法</p> <p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p> <p>カーペット系床仕上げ工事の段取り及び工法</p>	<p>(1) 次のカーペット系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途 イ だんつう ロ パイルの機械織りカーペット ハ タフテットカーペット ニ タイルカーペット ホ ニードルパンチカーペット ヘ ボンデットカーペット ト クッションバックカーペット チ 人工芝生</p> <p>(2) 次のカーペット系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、規格、性質及び用途 イ カーペット系床用接着剤 ロ 下地補修材 ハ 下地補強材 ニ グリッパー ホ 下敷き材 ヘ ノンスリップ、押え金具等の附属材</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。 (1) ビニル床シート (2) ビニル床タイル (3) プラスチック系床用接着剤 (4) プライマー (5) 目地処理材 (6) ワックス</p> <p>3 次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。 (1) 単層フローリング(無垢材) (2) 複合フローリング (3) 木質系床材用接着剤 (4) 釘、ねじ</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。 (1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板 (3) 鋼板 (4) 防湿材及び防水材</p> <p>次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する器具の種類、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。 (1) 割付け用器具 (2) 接着用器具 (3) 切断用器具 (4) 敷込み用器具 (5) 補助器具</p> <p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について一般的な知識を有すること。 (1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事 (5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事 (9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11) 断熱及び防露工事 (12) P Cパネル工事及びA L Cパネル工事</p> <p>1 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事の段取りに関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 下地の点検及び調整 (2) 材料選定</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>カーペット系床の維持及び管理 色彩の用語及び図柄の種類</p> <p>ハ 木質系床仕上げ施工法 床仕上げの種類及び特徴</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p> <p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p>	<p>(3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>2 次に掲げるカーペット系床仕上げ工法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次のカーペット系床仕上げ工法 イ グリッパー工法 ロ タイル張り工法 ハ 直張り工法 ニ くぎ打ち工法 ホ 置敷き工法 ヘ 両面接着テープ工法</p> <p>(2) 階段の仕上げ工法 (3) 接合方法 (4) 張り替え工法</p> <p>カーペット系床の維持及び管理について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる色彩の用語について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 色相 (2) 明度 (3) 彩度 (4) 寒色及び暖色 (5) 色相対比 (6) 面積効果 (7) 明度対比 (8) 色の軽重度</p> <p>2 次に掲げる図柄の種類について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 柄割 (2) 紋丈 (3) 紋クセ</p> <p>1 次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) プラスチック系床仕上げ (2) カーペット系床仕上げ (3) 木質系床仕上げ (4) モルタル床仕上げ (5) 陶磁器質タイル床仕上げ (6) 石材床仕上げ (7) 畳敷き (8) 合成樹脂塗り床仕上げ (9) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p> <p>1 木質系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の木質系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途 イ 単層フローリング（無垢材） ロ 複合フローリング</p> <p>(2) 次の木質系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、規格、性質及び用途 イ 木質系床材用接着剤 ロ 釘、ねじ ハ 塗料（コーティング用、ライン引き用） ニ ワックス ホ エキスパンジョン ヘ ダボ ト 養生テープ（養生用、ライン引き用）</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する材料の種</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p>	<p>類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) ビニル床シート (2) ビニル床タイル</p> <p>(3) プラスチック系床用接着剤 (4) プライマー</p> <p>(5) 目地処理材 (6) ワックス</p> <p>3 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) カーペット (2) タイルカーペット</p> <p>(3) カーペット用接着剤 (4) グリッパー (5) 下敷き材</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板</p> <p>(3) 鋼板</p>
<p>木質系床仕上げ工事に使用する器工具の種類、用途及び使用方法</p>	<p>次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する器工具の種類、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地調整器工具 (2) 下地乾燥度測定器 (3) 割り付け工具</p> <p>(4) 裁断工具 (5) 採寸工具 (6) 接着剤塗布器工具</p> <p>(7) 圧着工具 (8) 釘留め・ねじ留め用工具</p> <p>(9) 研磨工具 (研磨材を含む。) (10) 清掃工具</p> <p>(11) 塗装工具 (12) 補修工具</p>
<p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p>	<p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事</p> <p>(5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事</p> <p>(9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11) 断熱及び防露工事</p> <p>(12) PCパネル工事及びALCパネル工事</p>
<p>木質系床仕上げ工事の段取り及び工法</p>	<p>1 次に掲げる木質系床仕上げ工事の段取りについて一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 下地の点検及び処理 (2) 材料選定</p> <p>(3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>2 次に掲げる木質系床仕上げ工法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 次の木質系床張り工法</p> <p>イ 釘留め工法 ロ 直張り工法・圧着工法 (接着工法)</p> <p>ハ 普通張り工法 (釘・接着剤併用工法)</p> <p>ニ 特殊張り工法 (釘・接着剤・ねじ併用工法)</p> <p>(2) 次の木質系床表面仕上げ工法</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>木質系床の維持及び管理 図柄の種類</p> <p>ニ 鋼製下地施工法 吸音及び遮音、断熱及び 防露並びに防火及び耐火</p> <p>天井及び壁の種類及び特 徴</p>	<p>イ 研磨・コーティング工法 ロ ライン引き工法 (3) 立上り部分及び階段の仕上げ工法 (4) 幅木仕上げ工法 (5) 張り替え工法</p> <p>木質系床の維持及び管理について一般的な知識を有すること。 次に掲げる木質系床仕上げの図柄について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) レンガ張り (2) ヘリンボーン張り（網代張り） (3) 矢羽根張り（留め網代張り） (4) 市松張り (5) 乱尺張り (6) デザイン張り</p> <p>1 次に掲げる吸音及び遮音並びに断熱及び防露の性質について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 吸音及び遮音 イ 吸音性 ロ 遮音性</p> <p>(2) 断熱及び防露 イ 熱伝導性 ロ 吸湿性 ハ 透湿性 ニ 伸縮性</p> <p>2 内装仕上げ工事に伴う吸音及び遮音、断熱及び防露並びに防火及び耐火の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 吸音及び遮音 イ 効果 ロ 工法</p> <p>(2) 断熱及び防露 イ 効果 ロ 工法</p> <p>(3) 防火及び耐火 イ 防火材料 ロ 内装制限 ハ 防火構造 ニ 耐火構造 ホ 防煙区画</p> <p>1 天井の構法、形状及び納まりについて詳細な知識を有すること。</p> <p>2 壁の構法、種類及び納まりについて一般的な知識を有すること。</p> <p>3 次に掲げる天井仕上げ及び壁仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井仕上げ イ 板張り仕上げ ロ 金属成形板仕上げ ハ 壁紙仕上げ ニ 塗装仕上げ ホ その他の仕上げ</p> <p>(2) 壁仕上げ</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>鋼製下地工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p> <p>鋼製下地工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>ボード仕上げ工事に使用する材料の種類及び規格</p> <p>鋼製下地工事及びボード仕上げ工事の関連工事の種類及び施工法</p> <p>鋼製下地工事の段取り及び工法</p>	<p>イ 構造化粧仕上げ ロ 板張り仕上げ</p> <p>ハ 金属成形板仕上げ ニ 塗り壁仕上げ</p> <p>ホ タイル・石張り仕上げ ヘ 壁紙仕上げ</p> <p>ト 塗装仕上げ チ パーティション</p> <p>リ カーテンウォール ヌ その他の仕上げ</p> <p>4 次に掲げる天井下地及び壁下地の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井下地</p> <p>イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>(2) 壁下地</p> <p>イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>次に掲げる鋼製下地工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) つりボルト及びハンガ (2) 野縁受け及び野縁</p> <p>(3) 天井補強材 (4) スタッド及びランナ</p> <p>(5) スペーサ及び振れ止め (6) 壁補強材</p> <p>(7) 点検口 (8) その他工事に使用する材料</p> <p>1 次に掲げる鋼製下地工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 高速切断機及び切断用器工具 (2) アーク溶接機</p> <p>(3) その他の器工具</p> <p>2 電動機器の取扱い及び配線に必要な電気知識について一般的な知識を有すること。</p> <p>次に掲げるボード仕上げ工事に使用する材料の種類及び規格について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) せっこうボード (2) その他のボード類</p> <p>次に掲げる関連工事の種類及び施工法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 木工事 (3) 左官工事 (4) 建具工事</p> <p>(5) 壁装工事 (6) 床工事 (7) 塗装工事 (8) 設備工事</p> <p>1 鋼製下地工事の段取りに関し、次に掲げる作業の方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 前工程の確認 (2) 割付け (3) 墨出し (4) 使用材料の確認</p> <p>(5) 施工用器工具及び機械の準備及び点検 (6) 足場材の確認</p> <p>2 鋼製天井下地工法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>鋼製下地工事における欠陥の種類、原因及び補修方法</p> <p>鋼製下地工事における養生</p> <p>ホ ボード仕上げ施工法 吸音及び遮音、断熱及び防露並びに防火及び耐火</p>	<p>(1) つりボルト及びハンガの加工及び取付け (2) 野縁受けの加工及び取付け (3) 野縁の加工及び取付け (4) 下り壁及び勾配天井 (5) 点検口取付け (6) 開口部補強、つり元補強、天井補強その他補強材料の加工及び取付け</p> <p>3 鋼製壁下地工法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) スタッド及びランナの加工及び取付け (2) スペーサ及び振れ止めの加工及び取付け (3) L形及びT形取合い (4) 建具及びダクト類の開口補強、そで壁その他補強材料の加工及び取付け</p> <p>4 システム天井工事の材料及び工法に関し一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる鋼製下地工事における欠陥の種類及び原因について一般的な知識を有すること。 (1) 材質面での欠陥 (2) 施工面での欠陥 (3) 外部要因による欠陥</p> <p>2 鋼製下地工事における補修の方法について一般的な知識を有すること。 鋼製下地工事の養生に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 鋼製下地工事の作業中及び作業後の養生の方法 (2) 鋼製下地用材料の運搬及び保管における養生の方法</p> <p>1 次に掲げる吸音及び遮音並びに断熱及び防露の性質について一般的な知識を有すること。 (1) 吸音及び遮音 イ 吸音性 ロ 遮音性 (2) 断熱及び防露 イ 熱伝導性 ロ 吸湿性 ハ 透湿性 ニ 伸縮性</p> <p>2 内装仕上げ工事に伴う吸音及び遮音、断熱及び防露並びに防火及び耐火の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 (1) 吸音及び遮音 イ 効果 ロ 工法</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
天井及び壁の種類及び特徴	<p>(2) 断熱及び防露 イ 効果 ロ 工法</p> <p>(3) 防火及び耐火 イ 防火材料 ロ 内装制限 ハ 防火構造 ニ 耐火構造 ホ 防煙区画</p> <p>1 天井及び壁の構法、形状、種類及び納まりについて一般的な知識を有すること。</p> <p>2 次に掲げる天井仕上げ及び壁仕上げの種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井仕上げ イ 板張り仕上げ ロ 金属成形板仕上げ ハ 壁紙仕上げ ニ 塗装仕上げ ホ その他の仕上げ</p> <p>(2) 壁仕上げ イ 構造化粧仕上げ ロ 板張り仕上げ ハ 金属成形板仕上げ ニ 塗り壁仕上げ ホ タイル・石張り仕上げ ヘ 壁紙仕上げ ト 塗装仕上げ チ パーティション リ カーテンウォール ヌ その他の仕上げ</p> <p>3 次に掲げる天井下地及び壁下地の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天井下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>(2) 壁下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p>
ボード仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途	<p>ボード仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次のボード類の種類、規格、性質及び用途</p> <p>(1) せっこうボード (2) ロックウール化粧吸音板 (3) グラスウール化粧吸音板 (4) けい酸カルシウム板 (5) スレート (6) 合板 (7) その他のボード類</p> <p>2 ボード類接着剤の種類、規格及び用途</p> <p>3 次の附属部材の種類、規格及び用途</p> <p>(1) タッピンねじ (2) ステープル (3) ボードくぎ及び特殊くぎ (4) ジョイナー (5) 見切り縁</p>
ボード仕上げ工事に使用する機械及び器工具の種類	<p>1 次に掲げるボード仕上げ工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>類、用途及び使用方法</p> <p>鋼製下地工事に使用する材料の種類及び規格</p> <p>鋼製下地工事及びボード仕上げ工事の関連工事の種類及び施工法</p> <p>ボード仕上げ工事の段取り及び工法</p> <p>ボード仕上げ工事における欠陥の種類、原因及び補修方法</p> <p>ボード仕上げ工事における養生</p>	<p>(1) エアコンプレッサー及びタッカ (2) 電動工具 (3) 切断用器工具 (4) その他の器工具</p> <p>2 電動機器の取扱い及び配線に必要な電気知識について一般的な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる鋼製下地工事に使用する材料の種類及び規格について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 野縁 (2) スタッド (3) その他工事に使用する材料</p> <p>次に掲げる関連工事の種類及び施工法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 木工事 (3) 左官工事 (4) 建具工事 (5) 壁装工事 (6) 床工事 (7) 塗装工事 (8) 設備工事</p> <p>1 ボード仕上げ工事の段取りに関し、次に掲げる作業の方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 前工程の確認 (2) 割付け (3) 墨出し (4) 使用材料の確認 (5) 施工用器工具及び機械の準備及び点検 (6) 足場材の確認</p> <p>2 ボード仕上げ工法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) ボード類及び附属部材の加工方法 イ 切断 ロ 穴あけ及び切込み ハ 面取り ニ やといぎね加工 ホ 見切り縁留め加工</p> <p>(2) 仕上げ イ 目透し張り工法 ロ 突付け張り工法 ハ 捨張り工法 ニ 重ね張り工法 ホ 接着工法 ヘ 継目処理工法 ト 壁じか張り工法</p> <p>3 システム天井工事の材料及び工法に関し一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げるボード仕上げ工事における欠陥の種類及び原因について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 材質面での欠陥 (2) 施工面での欠陥 (3) 外部要因による欠陥</p> <p>2 ボード仕上げ工事における補修の方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>ボード仕上げ工事の養生に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) ボード仕上げ工事の作業中及び作業後の養生の方法 (2) ボード類及び取付附属部材の運搬及び保管における養生の方</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>へ カーテン施工法</p> <p>カーテンの種類及び特徴</p> <p>縫製に使用する機械及び器具の種類、用途及び使用方法</p> <p>カーテンに使用する材料及び取付用材料の種類、特徴及び用途</p> <p>模様の種類、特徴及び効果</p>	<p>法</p> <p>1 次に掲げるカーテンの種類について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) カーテン (2) どん帳及び舞台幕</p> <p>(3) ブラインド及びロールブラインド (4) アコーディオンドア</p> <p>(5) ロマンシェード</p> <p>2 次に掲げるカーテンの種類に関する事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 保温 (2) 遮光 (3) 吸音 (防音)</p> <p>縫製に使用するミシン及び附属品並びに器具の種類、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる繊維の種類、特徴及び用途について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 天然繊維 (2) 化学繊維</p> <p>2 次に掲げる織物及び生地の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 織物</p> <p>イ 平織物 ロ ^{あや}綾織物 ハ 朱子織物</p> <p>(2) 生地</p> <p>イ 厚手生地 ロ 薄手生地 ハ ケースメント ニ レース</p> <p>3 カーテン生地に関し、次に掲げる染色方法及び特殊加工について、概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 染色方法</p> <p>イ 先染 ロ 後染 ハ ^な捺染 ニ 染色^{ろう}堅牢度</p> <p>(2) 特殊加工</p> <p>イ 樹脂加工 ロ 防水加工 ハ 防縮加工</p> <p>ニ コーティング ホ 防炎加工</p> <p>4 次に掲げるカーテンの取付用材料の種類及び特徴について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) カーテンレール (2) カーテンボックス</p> <p>(3) 開閉及び昇降用装置 (4) 附属品</p> <p>次に掲げる模様の特徴及び効果について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 具象模様 (2) 抽象模様 (3) 幾何学模様</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>色彩の用語</p> <p>スタイルの決定</p> <p>採寸及び要尺並びに取付けの方法</p> <p>裁断及び縫製の種類及び方法</p>	<p>次に掲げる色彩の用語について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 色相 (2) 明度 (3) 彩度 (4) 寒色及び暖色 (5) 色相対比 (6) 面積効果 (7) 明度対比 (8) 色の軽重度</p> <p>スタイルの決定に関し、次に掲げる要素に応じたスタイルの決定について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 使用目的 (2) 窓 (3) 天井 (4) 壁 (5) 床</p> <p>1 次に掲げる事項に応じた採寸及び要尺の方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 採寸 イ 取付位置及び形状 ロ 金具 ハ 上飾り、房等のアクセサリー</p> <p>(2) 要尺 イ 各種繊維 ロ スタイル ハ アクセサリー</p> <p>2 カーテンの取付けの方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 取付場所の確認 (2) 金具等の組立て (3) 金具の取付け (4) カーテンの吊込み^{つり} (5) 仕上げ</p> <p>3 次に掲げる材質による壁及び天井のカーテンの取付けの方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) コンクリート (3) 金属 (4) プラスターボード (5) スレート (6) その他の材質</p> <p>1 次に掲げる裁断の方法について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 柄裁ち (2) 目裁ち (3) けん尺裁ち (4) 柄合せ (5) 耳裁ち</p> <p>2 次に掲げる縫製の方法について、一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) 幅はぎ (2) 耳縫い (3) 裾又は頭縫い^{すそ}</p>
<p>実 技 試 験</p> <p>次の各号に掲げる科目のうち、 受検者が選択するいずれか一の 科目</p> <p>1 プラスチック系床仕上げ工事 作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び調整</p> <p>床仕上げ材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p>	<p>床下地の点検及び調整ができること。</p> <p>床仕上げ材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>プラスチック系床仕上げ工事の施工</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 平場及び立上り部の施工ができること。 2 階段部の施工ができること。 3 幅木の施工ができること。 4 柄合わせができること。 5 接合ができること。
<p>2 カーペット系床仕上げ工事作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び調整</p> <p>床仕上げ材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>カーペット系床仕上げ工事の施工</p>	<p>床下地の点検及び調整ができること。</p> <p>床仕上げ材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平場及び立上り部の施工ができること。 2 階段部の施工ができること。 3 柄合わせができること。 4 接合ができること。 5 縫製ができること。
<p>3 木質系床仕上げ工事作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び処理</p> <p>床仕上げ材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>木質系床仕上げ工事の施工</p>	<p>床下地の点検及び処理ができること。</p> <p>床仕上げ材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平場及び立上り部の施工ができること。 2 階段部の施工ができること。 3 幅木の施工ができること。
<p>4 鋼製下地工事作業</p> <p>取付下地の点検及び補修</p> <p>鋼製下地材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>鋼製下地工事の施工</p>	<p>天井及び壁取付下地を図面に基づき点検及び補修処置ができること。</p> <p>鋼製下地材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 天井下地工事に関し、次に掲げる作業ができること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) つり金具の加工及び取付け (2) 野縁受けの加工及び取付け (3) 野縁の加工及び取付け (4) 天井補強材の加工及び取付け (5) 開口部補強材の加工及び取付け (6) 鋼製下地の補修 2 壁下地工事に関し、次に掲げる作業ができること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) スタッド及びランナの加工及び取付け (2) スペーサ及び振れ止めの取付け

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>5 ボード仕上げ工事作業</p> <p>取付下地の点検及び補修</p> <p>ボード類の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>ボード仕上げ工事の施工</p> <p>6 カーテン工事作業</p> <p>採寸及び要尺</p> <p>裁断</p> <p>縫製</p> <p>取付け</p>	<p>(3) 壁補強材の加工及び取付け (4) 振れ止めの加工及び取付け</p> <p>(5) 鋼製下地の補修</p> <p>天井及び壁下地を図面にに基づき点検及び補修ができること。</p> <p>ボード類の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <p>1 天井ボード仕上げ工事に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) ボード類の加工</p> <p>(2) 鋼製下地にボード類の捨張り</p> <p>(3) 鋼製下地にボード類の突付け張り</p> <p>(4) 鋼製下地にボード類の目透し張り (5) 捨張りへの化粧張り</p> <p>(6) 金属製及びプラスチック製見切り縁の取付け</p> <p>(7) 設備器具開口部の切込み (8) 改め口の切込み及び取付け</p> <p>(9) 柱及びパイプ回りの切欠き</p> <p>(10) ボード張り天井の養生及び補修</p> <p>2 壁ボード仕上げ工事に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) 鋼製下地にボード類突付け張り</p> <p>(2) 鋼製下地にボード類目透し張り</p> <p>(3) 鋼製下地にボード類重ね張り</p> <p>(4) せっこう系接着剤によるコンクリート面へのじか張り</p> <p>(5) ボード張り壁の養生及び補修</p> <p>次に掲げるカーテン類に応じた採寸及び要尺ができること。</p> <p>(1) カーテン (2) どん帳 (3) 舞台幕</p> <p>1 柄裁ち、目裁ち及びけん尺裁ち作業ができること。</p> <p>2 柄合せ及び耳裁ち作業ができること。</p> <p>縫製作業ができること。</p> <p>次に掲げるカーテンの施工場所に応じた取付作業ができること。</p> <p>(1) カーテン (2) どん帳 (3) 舞台幕</p> <p>(4) ブラインド及びロールブラインド</p> <p>(5) アコーディオンドア</p>

3 3級内装仕上げ施工技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

内装仕上げ施工の職種における初級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表3の左欄のとおりとする。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表3の右欄のとおりとする。

表3

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>学 科 試 験</p> <p>1 内装仕上げ一般 内装仕上げの種類</p> <p>2 建築構造 建築構造の種類及び特徴</p> <p>建築物の主要部分の種類及び構造</p> <p>3 建築製図 建築設計図書及び日本工業規格に定める建築製図通則</p> <p>4 関係法規 建築基準法関係法令及び消防法関係法令のうち、内装仕上げ工事に関する部分</p> <p>5 安全衛生</p>	<p>次に掲げる内装仕上げの種類について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 床仕上げ (2) 壁仕上げ (3) 天井仕上げ (4) カーテン及びブラインド</p> <p>次に掲げる建築構造の種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 木造 (2) 鉄骨造 (3) 鉄筋コンクリート造 (4) 鉄骨鉄筋コンクリート造 (5) 補強コンクリートブロック造</p> <p>次に掲げる建築物の主要部分の種類及び構造について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 基礎 (2) 柱 (3) はり (4) 床 (5) 壁 (6) 天井 (7) 屋根 (8) 階段 (9) 開口部</p> <p>1 内装仕上げ工事に関連する建築設計図書について概略の知識を有すること。</p> <p>2 日本工業規格に定める建築製図通則のうち、建築設計図の内装仕上げ工事に関連する部分の読図に必要な事項について概略の知識を有すること。</p> <p>1 建築基準法関係法令に関し、内装仕上げ工事に関する規定について概略の知識を有すること。</p> <p>2 消防法関係法令に関し、内装仕上げ工事に関する規定について概略の知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>安全衛生に関する詳細な知識</p> <p>6 前各号に掲げる科目のほか、次に掲げる科目のうち、受検者が選択するいずれか一の科目</p> <p>イ プラスチック系床仕上げ施工法</p> <p>床仕上げの種類及び特徴</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p> <p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p>	<p>1 内装仕上げ工事に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。</p> <p>(1) 機械、器工具、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱方法</p> <p>(2) 安全装置、有害物抑制装置及び保護具の性能及び取扱方法</p> <p>(3) 作業手順</p> <p>(4) 作業開始時の点検</p> <p>(5) 内装仕上げ工事に関して、発生するおそれのある疾病の原因及び予防</p> <p>(6) 整理、整頓^{とん}及び清潔の保持</p> <p>(7) 事故時等における応急措置及び退避</p> <p>(8) その他内装仕上げ工事に関する安全又は衛生のために必要な事項</p> <p>2 労働安全衛生法関係法令（内装仕上げ工事に関する部分に限る。）について詳細な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) プラスチック系床仕上げ (2) カーペット系床仕上げ</p> <p>(3) 木質系床仕上げ (4) モルタル床仕上げ</p> <p>(5) 陶磁器質タイル床仕上げ (6) 石材床仕上げ</p> <p>(7) 畳敷き (8) 合成樹脂塗り床仕上げ</p> <p>(9) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p> <p>1 プラスチック系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 次のプラスチック系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途</p> <p>イ ビニル床シート ロ ビニル床タイル</p> <p>(2) 次のプラスチック系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、規格、性質及び用途</p>

試験科目及びその範囲	技能検定試験の基準の細目
<p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p> <p>プラスチック系床仕上げ工事に使用する器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p> <p>プラスチック系床仕上げ工事の段取り及び工法</p>	<p>イ プラスチック系床材用接着剤 ロ 下地補修材 ハ 下地補強材 ニ プライマー ホ ワックス ヘ 目地処理材 ト ノンスリップ、押え金具等の附属材 チ 型紙</p> <p>2 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について概略の知識を有すること。 (1) カーペット (2) タイルカーペット (3) カーペット用接着剤 (4) グリッパー (5) 下敷き材</p> <p>3 次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について概略の知識を有すること。 (1) 単層フローリング（無垢材） (2) 複合フローリング (3) 木質系床材用接着剤 (4) 釘、ねじ</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について概略の知識を有すること。 (1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板 (3) 鋼板 (4) 防湿材及び防水材</p> <p>次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する器工具の種類、用途及び使用方法について概略の知識を有すること。 (1) 下地調整器工具 (2) 下地乾燥度測定器 (3) 割り付け工具 (4) 裁断工具 (5) 採寸工具 (6) 接着剤塗布器工具 (7) 圧着工具 (8) 溶接器工具 (9) 加熱器具 (10) 補修工具</p> <p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について概略の知識を有すること。 (1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事 (5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事 (9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11) 断熱及び防露工事 (12) PCパネル工事及びALCパネル工事</p> <p>1 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事の段取りについて概略の知識を有すること。 (1) 下地の点検及び調整 (2) 材料選定 (3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工法について概略の知識を有すること。 (1) 次のビニル床タイルの壁面部及び役物部の寸法取りの方法 イ フリーカット工法 ロ けがき工法 ハ 型紙工法 (2) 次のビニル床タイルの接着工法</p>

試験科目及びその範囲	技能検定試験の基準の細目
<p>プラスチック系床の維持及び管理</p> <p>ロ カーペット系床仕上げ施工法</p> <p>床仕上げの種類及び特徴</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴</p> <p>床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p>	<p>イ 片面接着工法 ロ 両面接着工法 ハ ピールアップ工法</p> <p>(3) 次のビニル床シートの壁面部及び役物部の寸法取りの方法</p> <p>イ フリーカット工法 ロ けがき工法 ハ 型紙工法</p> <p>(4) 次のビニル床シートの接着工法</p> <p>イ 片面接着工法 ロ 両面接着工法 ハ 袋張り工法</p> <p>ニ テープ張り工法 ホ ピールアップ工法</p> <p>(5) 次のビニル床シートの継ぎ目部のカットの仕方</p> <p>イ 重ね切り工法 ロ 落とし込み工法 ハ 目すかし張り工法</p> <p>(6) 次のビニル床シートの接合工法</p> <p>イ 突きつけ工法 ロ 溶接棒による接合</p> <p>ハ 溶接液による接合</p> <p>(7) ビニル床シートの柄合わせ</p> <p>(8) 立上り部分及び階段の仕上げ工法</p> <p>(9) 幅木仕上げ工法 (10) 張り替え工法</p> <p>プラスチック系床の維持及び管理について概略の知識を有すること。</p> <p>次に掲げる床仕上げの種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) カーペット系床仕上げ (2) プラスチック系床仕上げ</p> <p>(3) 木質系床仕上げ (4) モルタル床仕上げ</p> <p>(5) 陶磁器質タイル床仕上げ (6) 石材床仕上げ</p> <p>(7) 畳敷き (8) 合成樹脂塗り床仕上げ</p> <p>(9) フリーアクセスフロア</p> <p>次に掲げる床下地（立上り部分を含む。）の種類、構造及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) モルタル (3) コンクリート (4) 鋼板</p> <p>1 カーペット系床仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 次のカーペット系床仕上げ材の種類、規格、性質及び用途</p> <p>イ だんつう ロ パイルの機械織りカーペット</p> <p>ハ タフテットカーペット ニ タイルカーペット</p> <p>ホ ニードルパンチカーペット ヘ ボンデットカーペット</p> <p>ト クッションバックカーペット チ 人工芝生</p> <p>(2) 次のカーペット系床仕上げ工事に使用する副資材の種類、規</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>床下地に使用する材料の種類及び特徴</p> <p>カーペット系床仕上げ工事に使用する器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程</p> <p>カーペット系床仕上げ工事の段取り及び工法</p>	<p>格、性質及び用途</p> <p>イ カーペット系床用接着剤 ロ 下地補修材 ハ 下地補強材 ニ グリッパー ホ 下敷き材 ヘ ノンスリップ、押え金具等の附属材</p> <p>2 次に掲げるプラスチック系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) ビニル床シート (2) ビニル床タイル (3) プラスチック系床用接着剤 (4) プライマー (5) 目地処理材 (6) ワックス</p> <p>3 次に掲げる木質系床仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 単層フローリング(無垢材) (2) 複合フローリング (3) 木質系床材用接着剤 (4) 釘、ねじ</p> <p>次に掲げる材料の種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) モルタル及びコンクリート (2) 木材及び合板 (3) 鋼板 (4) 防湿材及び防水材</p> <p>次に掲げるカーペット系床仕上げ工事に使用する器工具の種類、用途及び使用方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 割付け用器工具 (2) 接着用器工具 (3) 切断用器工具 (4) 敷込み用器工具 (5) 補助器工具</p> <p>次に掲げる床仕上げ工事の関連工事の種類及び工程について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) コンクリート工事 (2) 防水工事 (3) 木工事 (4) 左官工事 (5) 建具工事 (6) 塗装工事 (7) 天井工事 (8) 壁装工事 (9) 電気工事 (10) 衛生冷暖房工事 (11) 断熱及び防露工事 (12) PCパネル工事及びALCパネル工事</p> <p>1 次に掲げるカーペット系床仕上げ工事の段取りに関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 下地の点検及び調整 (2) 材料選定 (3) 割付け及び墨出し (4) 材料の点検</p> <p>2 次に掲げるカーペット系床仕上げ工法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 次のカーペット系床仕上げ工法</p> <p>イ グリッパー工法 ロ タイル張り工法 ハ 直張り工法 ニ くぎ打ち工法 ホ 置敷き工法 ヘ 両面接着テープ工法</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>カーペット系床の維持及び管理</p> <p>ハ 鋼製下地施工法</p> <p>天井及び壁の種類及び特徴</p> <p>鋼製下地工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p> <p>鋼製下地工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法</p>	<p>(2) 階段の仕上げ工法 (3) 接合方法 (4) 張り替え工法 カーペット系床の維持及び管理について概略の知識を有すること。</p> <p>1 天井の構法、形状及び納まりについて概略の知識を有すること。</p> <p>2 壁の構法、種類及び納まりについて概略の知識を有すること。</p> <p>3 次に掲げる天井仕上げ及び壁仕上げの種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 天井仕上げ イ 板張り仕上げ ロ 金属成形板仕上げ ハ 壁紙仕上げ ニ 塗装仕上げ ホ その他の仕上げ</p> <p>(2) 壁仕上げ イ 構造化粧仕上げ ロ 板張り仕上げ ハ 金属成形板仕上げ ニ 塗り壁仕上げ ホ タイル・石張り仕上げ ヘ 壁紙仕上げ ト 塗装仕上げ チ パーティション リ カーテンウォール ヌ その他の仕上げ</p> <p>4 次に掲げる天井下地及び壁下地の種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 天井下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>(2) 壁下地 イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>次に掲げる鋼製下地工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) つりボルト及びハンガ (2) 野縁受け及び野縁 (3) 天井補強材 (4) スタッド及びランナ (5) スペーサ及び振れ止め (6) 壁補強材 (7) 点検口 (8) その他工事に使用する材料</p> <p>1 次に掲げる鋼製下地工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 高速切断機及び切断用器工具 (2) アーク溶接機 (3) その他の器工具</p> <p>2 電動機器の取扱い及び配線に必要な電気知識について概略の知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
鋼製下地工事の段取り及び工法	<p>1 鋼製下地工事の段取りに関し、次に掲げる作業の方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 前工程の確認 (2) 割付け (3) 墨出し (4) 使用材料の確認 (5) 施工用器工具及び機械の準備及び点検 (6) 足場材の確認</p> <p>2 鋼製天井下地工法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。</p> <p>(1) つりボルト及びハンガの加工及び取付け (2) 野縁受けの加工及び取付け (3) 野縁の加工及び取付け (4) 下り壁及び勾配天井 (5) 点検口取付け (6) 開口部補強、つり元補強、天井補強その他補強材料の加工及び取付け</p> <p>3 鋼製壁下地工法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) スタッド及びランナの加工及び取付け (2) スペーサ及び振れ止めの加工及び取付け (3) L形及びT形取合い (4) 建具及びダクト類の開口補強、そで壁その他補強材料の加工及び取付け</p>
鋼製下地工事における欠陥の種類、原因及び補修方法	<p>1 次に掲げる鋼製下地工事における欠陥の種類及び原因について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 材質面での欠陥 (2) 施工面での欠陥 (3) 外部要因による欠陥</p> <p>2 鋼製下地工事における補修の方法について概略の知識を有すること。</p>
鋼製下地工事における養生	<p>鋼製下地工事の養生に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 鋼製下地工事の作業中及び作業後の養生の方法 (2) 鋼製下地用材料の運搬及び保管における養生の方法</p>
<p>ニ ボード仕上げ施工法</p> <p>天井及び壁の種類及び特徴</p>	<p>1 天井及び壁の構法、形状、種類及び納まりについて概略の知識を有すること。</p> <p>2 次に掲げる天井仕上げ及び壁仕上げの種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 天井仕上げ</p> <p>イ 板張り仕上げ ロ 金属成形板仕上げ ハ 壁紙仕上げ</p> <p>ニ 塗装仕上げ ホ その他の仕上げ</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>ボード仕上げ工事に使用する材料の種類、規格、性質及び用途</p> <p>ボード仕上げ工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>ボード仕上げ工事の段取り及び工法</p>	<p>(2) 壁仕上げ</p> <p>イ 構造化粧仕上げ ロ 板張り仕上げ</p> <p>ハ 金属成形板仕上げ ニ 塗り壁仕上げ</p> <p>ホ タイル・石張り仕上げ ヘ 壁紙仕上げ</p> <p>ト 塗装仕上げ チ パーティション</p> <p>リ カーテンウォール ヌ その他の仕上げ</p> <p>3 次に掲げる天井下地及び壁下地の種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 天井下地</p> <p>イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>(2) 壁下地</p> <p>イ 木造下地 ロ その他の下地</p> <p>ボード仕上げ工事に使用する材料に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>1 次のボード類の種類、規格、性質及び用途</p> <p>(1) せっこうボード (2) ロックウール化粧吸音板</p> <p>(3) グラスウール化粧吸音板 (4) けい酸カルシウム板</p> <p>(5) スレート (6) 合板 (7) その他のボード類</p> <p>2 ボード類接着剤の種類、規格及び用途</p> <p>3 次の附属部材の種類、規格及び用途</p> <p>(1) タッピンねじ (2) ステープル</p> <p>(3) ボードくぎ及び特殊くぎ (4) ジョイナー (5) 見切り縁</p> <p>1 次に掲げるボード仕上げ工事に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) エアコンプレッサー及びタッカ (2) 電動工具</p> <p>(3) 切断用器工具 (4) その他の器工具</p> <p>2 電動機器の取扱い及び配線に必要な電気知識について概略の知識を有すること。</p> <p>1 ボード仕上げ工事の段取りに関し、次に掲げる作業の方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 前工程の確認 (2) 割付け (3) 墨出し (4) 使用材料の確認</p> <p>(5) 施工用器工具及び機械の準備及び点検 (6) 足場材の確認</p> <p>2 ボード仕上げ工法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) ボード類及び付属部材の加工方法</p> <p>イ 切断 ロ 穴あけ及び切込み ハ 面取り</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>ボード仕上げ工事における欠陥の種類、原因及び補修方法</p> <p>ボード仕上げ工事における養生</p> <p>ホ カーテン施工法 カーテンの種類及び特徴</p> <p>縫製に使用する機械及び器工具の種類、用途及び使用方法</p> <p>カーテンに使用する材料及び取付用材料の種類、特徴及び用途</p>	<p>ニ やといざね加工 ホ 見切り縁留め加工</p> <p>(2) 仕上げ</p> <p>イ 目透し張り工法 ロ 突付け張り工法 ハ 捨張り工法</p> <p>ニ 重ね張り工法 ホ 接着工法 ヘ 継目処理工法</p> <p>ト 壁じか張り工法</p> <p>1 次に掲げるボード仕上げ工事における欠陥の種類及び原因について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 材質面での欠陥 (2) 施工面での欠陥</p> <p>(3) 外部要因による欠陥</p> <p>2 ボード仕上げ工事における補修の方法について概略の知識を有すること。</p> <p>ボード仕上げ工事の養生に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) ボード仕上げ工事の作業中及び作業後の養生の方法</p> <p>(2) ボード類及び取付附属部材の運搬^{ばん}及び保管における養生の方法</p> <p>1 次に掲げるカーテンの種類について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) カーテン (2) どん帳及び舞台幕</p> <p>(3) ブラインド及びロールブラインド</p> <p>(4) アコーディオンドア (5) ロマンシェード</p> <p>2 次に掲げるカーテンの種類に関する事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 保温 (2) 遮光 (3) 吸音 (防音)</p> <p>縫製に使用するミシン及び附属品並びに器工具の種類、用途及び使用方法について概略の知識を有すること。</p> <p>1 次に掲げる繊維の種類、特徴及び用途について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 天然繊維 (2) 化学繊維</p> <p>2 次に掲げる織物及び生地の種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 織物</p> <p>イ 平織物 ロ ^{あや}綾織物 ハ 朱子織物</p> <p>(2) 生地</p> <p>イ 厚手生地 ロ 薄手生地 ハ ケースメント ニ レース</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>模様の種類、特徴及び効果</p> <p>色彩の用語</p> <p>スタイルの決定</p> <p>採寸及び要尺並びに取付けの方法</p> <p>裁断及び縫製の種類及び方法</p> <p>実 技 試 験</p> <p>次の各号に掲げる科目のうち、受検者が選択するいずれか一の</p>	<p>3 次に掲げるカーテンの取付用材料の種類及び特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) カーテンレール (2) カーテンボックス</p> <p>(3) 開閉及び昇降用装置 (4) 附属品</p> <p>次に掲げる模様の特徴及び効果について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 具象模様 (2) 抽象模様 (3) 幾何学模様</p> <p>次に掲げる色彩の用語について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 色相 (2) 明度 (3) 彩度 (4) 寒色及び暖色</p> <p>(5) 色相对比 (6) 面積効果 (7) 明度対比 (8) 色の軽重度</p> <p>スタイルの決定に関し、次に掲げる要素に応じたスタイルの決定について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 使用目的 (2) 窓 (3) 天井 (4) 壁 (5) 床</p> <p>1 次に掲げる事項に応じた採寸及び要尺の方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 採寸</p> <p>イ 取付位置及び形状 ロ 金具</p> <p>ハ 上飾り、房等のアクセサリー</p> <p>(2) 要尺</p> <p>イ 各種繊維 ロ スタイル ハ アクセサリー</p> <p>2 カーテンの取付けの方法に関し、次に掲げる事項について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 取付場所の確認 (2) 金具等の組立て</p> <p>(3) 金具の取付け (4) カーテンの吊込み^{つり} (5) 仕上げ</p> <p>3 次に掲げる材質による壁及び天井のカーテンの取付けの方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 木材 (2) コンクリート (3) 金属</p> <p>(4) プラスターボード (5) スレート (6) その他の材質</p> <p>1 次に掲げる裁断の方法について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 柄裁ち (2) 目裁ち (3) けん尺裁ち</p> <p>(4) 柄合せ (5) 耳裁ち</p> <p>2 次に掲げる縫製の方法について、概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 幅はぎ (2) 耳縫い (3) 裾又は頭縫い^{すそ}</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>科目</p> <p>1 プラスチック系床仕上げ工事 作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び調整</p> <p>床仕上げ材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>プラスチック系床仕上げ工事の施工</p> <p>2 カーペット系床仕上げ工事 作業</p> <p>床下地（立上り部分を含む。）の点検及び調整</p> <p>床仕上げ材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>カーペット系床仕上げ工事の施工</p> <p>3 鋼製下地工事作業</p> <p>鋼製下地材の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>鋼製下地工事の施工</p> <p>4 ボード仕上げ工事作業</p> <p>取付下地の点検及び補修</p> <p>ボード類の選定</p> <p>割付け及び墨出し</p> <p>ボード仕上げ工事の施工</p>	<p>床下地の点検及び調整ができること。</p> <p>床仕上げ材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <p>1 平場及び立上り部の施工ができること。</p> <p>2 幅木の施工ができること。</p> <p>3 接合ができること。</p> <p>床下地の点検及び調整ができること。</p> <p>床仕上げ材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <p>1 平場及び立上り部の施工ができること。</p> <p>2 接合ができること。</p> <p>鋼製下地材の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <p>1 天井下地工事に関し、次に掲げる作業ができること。 (1) つり金具の加工及び取付け (2) 野縁受けの加工及び取付け (3) 野縁の加工及び取付け (4) 鋼製下地の補修</p> <p>2 壁下地工事に関し、次に掲げる作業ができること。 (1) スタッド及びランナの加工及び取付け (2) スペーサ及び振れ止めの取付け (3) 鋼製下地の補修</p> <p>天井及び壁下地を図面に基づき点検及び補修ができること。</p> <p>ボード類の選定ができること。</p> <p>割付け及び墨出しができること。</p> <p>1 天井ボード仕上げ工事に関し、次に掲げる作業ができること。 (1) ボード類の加工 (2) 鋼製下地にボード類の捨張り (3) 鋼製下地にボード類の突付け張り</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
5 カーテン工事作業 採寸及び要尺 裁断 縫製 取付け	(4) プラスチック製見切り縁の取付け (5) ボード張り天井の養生及び補修 2 壁ボード仕上げ工事に関し、次に掲げる作業ができること。 (1) 鋼製下地にボード類突付け張り (2) ボード張り壁の養生及び補修 カーテンの採寸及び要尺ができること。 柄裁ち、目裁ち及びけん尺裁ち作業ができること。 縫製作業ができること。 次に掲げるカーテンの施工場所に応じた取付作業ができること。 (1) カーテン (2) ブラインド及びロールブラインド (3) アコーディオンドア